



鹿児島県プロモーション課長に就任したボクが鹿児島県を行っているさまざまな施策や取り組みについて紹介するぶー



上海の浦東(プートン)開発地区。
鹿児島～上海間には週2便の定期航空路線もあるんだぶー



アジアへ広がる 鹿児島ブランド

鹿児島の特産品や観光資源を海外にアピール。特に経済発展著しい中国をはじめとする東アジアをターゲットに、鹿児島県ではさまざまなPR活動が行われていきます。長年の取り組みにより、鹿児島ブランドは着実に定着しつつあります。

香港の食品見本市。
黒豚の試食をみんな待ってるぶー

中国の巨大市場に 鹿児島を売り込む

近年、急速に経済発展を遂げている中国では、富裕層を中心に日本の農産物や加工食品が高級品として人気を集め、観光地としても注目が高まっています。鹿児島県はブランド力の高い特産品の宝庫であり、観光資源も豊富。そして地理的にもアジアに近いという強みもあることから、県では特産品の海外展開と観光客の集客に向けたさまざまな取り組みを行っています。



市場開拓の拠点を 香港と上海に設置

経済交流・観光交流・国際交流の促進を目的として、鹿児島県は香港と上海に事務所を設置しています。県内企業の現地ビジネスに対するサポートや商談会の実施、観光客誘致、留学生受け入れなど、その活動内容は多岐に渡っています。

香港は中国本土に比べ輸入規制が厳しくなく、農産物をはじめとする県産品の輸出先として大いに期待されることから、県では昭和55年から駐在員を置き市場開拓に取り組んできました。香港における鹿児島ブランドの認知度は年々高まっており、現在は黒牛や黒豚などが人気商品となっています。

平成10年からは上海でのPR活動もスタート。平成22年には駐在事務所も開設されました。平成14年の定期航空路線就航以来、上海から鹿児島を訪れる人は年々増加傾向にあり、平成24年度には過去最高の1万人を突破しました。鹿児島県事業者の上海でのビジネスも活性化しており、現地で22企業106銘柄の焼酎が販売されるなど、鹿児島ブランドは着実に定着しつつあります。

上海の展示会。
鹿児島の特産品は現地でも人気だぶー



鹿児島県では、今後も現地事務所を拠点としたさらなる展開を予定しています。中でも香港は多くの観光客が訪れる都市であることから、効果的な宣伝活動が続けていくことで、中国全土、そして東南アジア地域への広がりも期待される所です。また、上海事務所では隣接する江蘇省・浙江省へも市場開拓に取り組んでいく方針で、これらの地域だけでも人口1億5千万人を超える巨大市場になります。

このように、鹿児島県ではこれまで積み上げて来た活動を、今後も継続して行っていく予定です。

2つのPR拠点から 中国・アジアへ広がりを

お問い合わせ先：県庁かごしまPR課 ☎099(286)3053